



部門賞 ユースアクション部門

選考委員からのコメント



小林 祐介氏

探求活動でSDGsをテーマに取り組む例は多いですが、聞いて学ぶだけでなく、実践し、商品化にまでつなげている過程が素晴らしいです。高校生にとって課題解決を通じた学びや多様な出会いが得られるプログラムとして、非常に意義のある取組です。



楠本 浩史氏

本取組は単発のものではなく、令和5年度に学校として取り組み始めたプロジェクトを後輩が引き継ぎ商品開発に至ったストーリー等が評価されました。今回の取組を契機に次年度以降は商品の展開や更なる事業者等の巻き込みを期待しています。

SDGsインパクト



【ターゲット 4.7】

すべての学習者が持続可能なライフスタイル等の教育を通して知識とスキルを確実に習得できる

授業の中で高校生たちが地域特産品の規格外野菜とその課題を学び、企業とともにそれを解決するための商品案を考え、行動しており、持続可能な社会を意識づける教育につながっている。



【ターゲット 12.3】

小売・消費者レベルにおける世界全体の1人あたりの食品廃棄を半分にする

廃棄されるはずの規格外野菜を新たな商品につくり変え、消費されるものとなったことで、食品廃棄の削減に貢献している。今後は一般販売も予定されているため、経済面での成長も期待できる。



【ターゲット 17.17】

効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する

地元企業や団体との連携により、高校生が地域で活躍する大人と関わりながら活動することができ、静岡市で生活するモチベーションの向上や、地域人材育成への寄与が期待できる。

「私たちの学びを届けて未来へ繋げる」～静岡市の特産品を活用して～

静岡市立清水桜が丘高等学校 × 有限会社秋月堂 × しずおかもったいないプロジェクト

1. 取組概要
静岡市立清水桜が丘高等学校商業科の3年生「課題研究（地域連携クラス）」では、地域の方々のご協力により様々な角度から多くの実践的な学びを進めています。今回、学びのスタートとして社会課題を見つめ直し、静岡市の課題に焦点をあてた時に、静岡市の特産品である葉ネギが農場で廃棄される規格外野菜の存在を学びました。そこで食品ロス削減に繋げ、この課題を広めていくためにも、地元のお舗お菓子処である秋月堂本店様のご協力のもと葉ネギを活用した商品開発に取り組みました。

2. 該当するSDGs目標
12 つくる責任
17 パートナリシップ
これまで廃棄されていた規格外野菜を活用し、高校生が授業で学んできたことをその商品に意味付けし販売していくことで、食品ロスに繋げると共に、地域の方に地元の課題を知ってもらうきっかけとします。

その他関連するSDGs目標
4 質の高い教育をみんなに
8 豊かになりながら持続可能な成長を目指そう
11 住み続けられるまちづくりを

3. 目標に対する達成状況、実績
本活動により完成した商品は、「サクチャーネ」という商品名で一袋7本入り、静岡市の特産品である葉ネギとチーズを掛け合わせた一品です。この商品に対して、全体量の11%に規格外野菜である葉ネギを活用しています。これはSDGs目標12に設定されている廃棄物の発生防止に資する取組となります。今後は商品の販促活動に力を入れ、静岡市の特産品のPRと共に、SDGs推進活動を実践していきます。

5. 取組が開始されたきっかけと展開
①令和5年度、商業科2年生「商品開発と流通」の授業の中でコラボ企画が始まりました。本校卒業生で長年地元で愛されてきた秋月堂本店様と取り組み、企業理念やその取り組みを知り、商品を開発するための必要な知識を実践的に学びながら新たな商品を開発する意味や大変さを学び、令和5年度は簡単な商品案を考えるところで終了しました。
②①の授業を選択した一部の生徒が令和6年度の「課題研究（地域連携クラス）」を選択し、昨年度の学びを引き継ぎ、継続して商品開発を実施することとなりました。
③令和6年度からは商品開発と共に、世の中に流通する商品を改めて見直し、様々な意味や目的を持つ商品が流通されていることを学習していきましました。
④新たな商品にも自分たちができる意味付けをしていきたいと生徒たち自身が考え、社会課題である「食品ロス」の現状と課題について様々な角度から学び始めていきました。その際、静岡市のごみ減量課の皆様をはじめ、多くの地元企業との取り組みを学び、改めて社会課題と共に地元の課題を知るようになります。
⑤もったいないプロジェクトの方からの講話で静岡市の特産品である葉ネギが規格外野菜として農場で捨てられている現状を知り、その葉ネギを活用できないかと考え、令和5年度から連携をはじめた秋月堂様と連携し改めて社会課題解決に向けた新たな商品開発に取り組みこととなり、試作を重ね完成致しました。

6. 応募した取組の今後の計画・展開
・完成した商品の一般販売を計画しています。秋月堂様での販売計画以外にも、商品の意味を広く地域の皆様へ届けるため、イベントや店舗での販売計画を考え活動していきます。
・この取り組みをきっかけに、高校生がさらに社会課題に目を向け関心を抱くような授業を展開していきたいと思っています。そして、自ら考え、感じ、新たな課題を発見しながら、さらに学びを探究できる活動を取り入れていきたいです。
・この取り組みから、SDGsを軸に改めて学校生活を見直し、SDGsの目標を校内、校外に向け実施される様々な取り組みの企画の糸口としていきます。
・高校生が地元地域で活躍する多くの大人と関わることで、静岡で働くことの楽しさや魅力を知り、将来地元地域で活躍できる「未来の静岡の創り手」を育成していきます。



7. 汎用性(他の事業所・団体が参加・真似しやすい)ポイント
本活動では、高校生の学びに協力して下さる皆様のおかげで取り組むことができました。規格外や過剰供給等で困っている農家さんはたくさんいらっしゃると思います。企業や自治体の皆様だけではなく、若い世代である高校生に現状を伝えていただくことで、その課題が彼らの学びとなり、SDGsを意識して考えるきっかけに繋がります。そして新たな出会いから連携、協力体制が構築され、新しい取り組みに挑戦することができ、地域一体となりSDGs活動に貢献することができると考えます。

